

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E132F016		経済学概論 (Introduction to Economics)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	3	教育学部	前期	火1	日本語		単独						
担当教員	氏名 小野 宏													
	E-mail onohiro@oita-u.ac.jp 内線 7710													
授業の概要	(本授業は、経済学部において前期火曜1限に開講される「マクロ経済学」と同時・同教室で行われる) はじめて経済学を学ぶ学生が、経済学、特にマクロ経済学の基礎的な知識や考え方を理解し、専門分野を学習するときに経済学を適用できる基礎力を修得することを目標とします。また、現実の経済問題について論理的に考える力をつけることをねらいとします。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 マクロ経済学の基本的な概念を説明できる。								○						
目標2 乗数効果を説明できる。								○						
目標3 財・サービス市場における需要と供給を説明できる。								○						
目標4 資産(貨幣)市場における需要と供給を説明できる。								○						
目標5 経済モデルに基づき、財政金融政策の効果について説明できる。								○						
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								10						
授業の内容														
1	マクロ経済学とは													
2	マクロ経済学のとらえ方(1) 貿易・為替レートとマクロ経済の波及効果													
3	マクロ経済学のとらえ方(2) GDPとは													
4	マクロ経済における需要と供給													
5	財・サービス市場：有効需要と乗数メカニズム													
6	資産(貨幣)市場(1) 貨幣供給と信用乗数													
7	資産(貨幣)市場(2) 貨幣需要と利子率													
8	まとめ(1)													
9	財政政策の基本構造(1) 乗数													
10	財政政策の基本構造(2) 公債の負担の問題													
11	財政・金融政策とマクロ経済：政策目標・政策手段と貿易問題													
12	財政・金融政策のメカニズム(1) 金融政策と有効需要													
13	財政・金融政策のメカニズム(2) 財政政策とクラウディング・アウト効果													
14	財政・金融政策のメカニズム(3) IS-LM分析と財政・金融政策													
15	まとめ(2)													
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認	○	レポート課題によって授業内容を確認し、自らの考えをまとめます。					工夫その他の	各種外部試験(経済学検定試験や公務員試験など)を元にした演習問題を解いてもらうことがあります。					
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	教科書の内容を確認すること(15h)。 マクロ経済学の考え方を意識しながら日本経済新聞を読むこと(5h)。												
	事後学修	講義を基にした教科書や配布資料の振り返り(25h)。												
	想定時間合計													
教科書	「マクロ経済学 第3版」伊藤元重著(日本評論社),2024年,ISBN 978-4535541078													
参考書	『マクロ経済学・入門 第6版』福田慎一 照山博司著(有斐閣アルマ),2024年,ISBN 9784641222243 『マンキュー マクロ経済学 入門篇 第5版』N.G.マンキュー著(東洋経済新報社),2023年,ISBN 9784492315583 など													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	定期試験		70%	○	○	○	○	○					
	小テスト及びレポート課題		30%	○	○	○	○	○					
注意事項	詳細な注意事項等は、第1回目の講義で説明します。												
備考	連絡等にMoodleを活用します。定期的に確認してください。												
リンク													
	URL												